

# 平成30年度 事業報告書 (第4四半期)

法人本部	P1
特別養護老人ホーム笑寿苑	P3
養護老人ホーム宇寿荘	P6
デイサービスセンター愛あいの家	P8
ヘルパーステーションかも	P10
加茂デイサービスセンター	P12
デイサービスセンターほほえみ	P14
かも福祉会居宅介護支援事業所	P17
かも社会就労センター	P19
かもてらす	P23

**社会福祉法人かも福祉会**

# 法人本部

## 1. 理事会、評議員会の開催状況

会 議	開 催 日	主 な 内 容
理事会	6月14日	平成29年度事業報告、決算、補正予算他
	8月1日	就業規則の一部改正、宇寿荘の一般型への転換他
	12月6日	補正予算、就業規則の一部改正他
	3月14日	平成31年度事業計画、予算、経理規程の一部改正他
	/	
評議員会	6月29日	平成29年度事業報告、決算、補正予算
	12月14日	補正予算他
	3月27日	平成31年度事業計画、予算、経理規程の一部改正他

## 2. 監事監査

3回（5/28・29、8/28、3/5）

## 3. 内部監査

4回（5/23、8/21、11/19、2/25）

## 4. 運営会議（課長以上）

6回（5/14、6/22、8/20、11/16、2/13、2/25）

## 5. 部長会 適宜開催

## 6. 法人役員研修

・社会福祉法人監事研修（7月20日）

## 7. 全体職員研修

5月7日・8日	交通安全について	（雲南警察署）
8月16日	出雲弁講座	（藤岡大拙氏）
11月16日	認知症について	（株）サキ・ウェルビー
12月18日	感染症について	（島大医学部附属病院）
3月4日・5日	救急法について	（雲南消防署）

## 8. 遊和会事業（互助会）

- ・軽スポーツ大会（ホーリング） 6/15、納涼祭 8/1、会食会（夜なべ会）11月～12月
- ・新年会 1/4

## 9. 笑寿苑管理棟・ユニット棟空調設備工事（9月～11月）

## 10. 社会福祉法人連絡会 7/19 総会・研修

## 11. その他の実施事業

- ・ふれあい祭り 10月21日
- ・職員採用試験の実施 2月9日、3月7日

## 12. 広報事業

- ・ホームページ更新 随時

### 【考察】

①社会福祉法人による地域貢献活動については、雲南市内14のすべての社会福祉法人が「雲南市社会福祉法人連絡会」を立ち上げ、福祉課題の解決や改善を図ることを目的とした「身近で何でも相談窓口ネットワーク事業」に取り組むこととなった。

具体的には、福祉サービスの提供を通じた、潜在的な福祉課題へのアウトリーチや地域住民からの生活・福祉相談の受付及び対応などです。

②笑寿苑の空調設備については、従来型の居室棟は平成 23 年度に更新したが、管理棟、ユニット棟については、設置から 18 年が経過し老朽化により頻繁に故障するようになったため更新工事を実施した。

③介護人材が不足する中、雲南市の補助制度を活用して UI ターン者 2 名を確保することができた。今後もこの実績をホームページ等でアピールして人材の確保につなげたい。

## 特別養護老人ホーム 笑寿苑

(入所定員：長期 50 名、短期 10 名、地域密着型 20 名)

### 1. 入居者等の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

出身地		小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
雲南市	加茂町	38		4	4	15	15
	大東町	22		1	4	10	7
	木次町	6				4	2
	三刀屋町	2			2		
	掛合町						
	吉田町						
江津市							
松江市							
合 計		68		5	10	29	24

### 2. 入居者の年齢構成（平成 31 年 3 月 31 日現在）

年齢構成	人数
100 歳以上	2 名
90 歳～99 歳	24 名
80 歳～89 歳	32 名
70 歳～79 歳	9 名
60 歳～69 歳	1 名

最高齢 103 歳、平均年齢 87.4 歳【前年度 88.6 歳】、平均介護度 4.1【前年度 4.0】

### 3. 年度中の入居者移動状況

入苑者数	30 名【前年度 22 名】
退苑者数	27 名【前年度 26 名】

### 4. 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
4 月	36 人	229 日	76.3%
5 月	37 人	271 日	87.4%
6 月	39 人	279 日	93.0%
7 月	43 人	290 日	93.5%
8 月	42 人	292 日	94.2%
9 月	43 人	283 日	94.3%

10月	42人	304日	98.1%
11月	44人	288日	96.0%
12月	39人	283日	91.3%
1月	31人	214日	69.0%
2月	40人	289日	103.2%
3月	38人	272日	87.7%

平均稼働率 90.2%【前年度 92.6%】

## 5. 職員配置数

職 種	合計	正規職員		臨時・嘱託
		専従	兼務	
施設長	1		1	
事務職員	4	1	3	
介護支援専門員	1		1	
生活相談員	1		1	
看護職員	6		3	3
機能訓練指導員	1		1	
介護職員	41	35		6
管理栄養士	1		1	
介助員	2			2
夜間警備員	3			3
合 計	61	36	11	14

## 6. 事業収入

①笑寿苑（単位：千円） 前年対比：98.6% 計画対比：99.8%

年度	介護報酬	利用者負担金	居住費 補足給付	居住費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
29年度	206,311	22,577	14,166	15,247	20,332	13,012	291,645
計画	204,327	22,703	13,850	14,710	19,927	12,662	288,179
30年度	204,478	22,245	12,197	16,236	18,159	14,326	287,641

②短期入所（単位：千円） 前年対比：98.4% 計画対比：96.3%

年度	介護報酬	利用者負担金	滞在費 補足給付	滞在費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
29年度	25,430	2,826	482	3,422	483	3,471	36,114
計画	26,006	2,878	451	3,537	451	3,572	36,895
30年度	25,050	2,804	541	3,280	507	3,351	35,533

## 7. 行事・事業の実施状況

月	行事・事業
4月	レントゲン検診、花見ドライブ、かも福祉会新人研修
5月	家族会総会（清掃奉仕作業）、加茂中学校奉仕作業
6月	笹巻き作り、うんなん糖尿病サークル
7月	避難訓練、夏祭り、民生児童委員奉仕作業
8月	七夕会、家族会役員会、加茂町ライオンズクラブ奉仕作業、空調設備更新工事～11月迄
9月	敬老祝賀会、島根県実地指導、島根大学法文学部実習生受け入れ
10月	かも福祉会ふれあい祭り、ホームケア実習生受け入れ、民生児童委員奉仕作業
11月	運動会、トリシティ実習生受け入れ、退公連女性部古布切りボランティア
12月	忘年会、クリスマス会
1月	新年会
2月	節分祭、トリシティ実習生受け入れ、ぶりの解体ショー
3月	ひな祭り会、避難訓練、ユニットケア全国実践者セミナー発表

※ちょっこし外出～随時

※笑笑（にこにこ）便り 年4回発行

## 8. 各種研修会及び会議への出席状況

- ・認知症介護研修、リスクマネジメント研修、管理栄養士研修
- ・ケアマネージャー研修、ユニットリーダー研修、身体拘束廃止（権利）研修
- ・糖尿病サークル 等
- ・職員会議、主任者会議 毎月 ・各種委員会 随時

### 【考 察】

#### 1. 収入について

- ・事業収入については、前年・計画ともに及ばなかった。全体では 325,074 千円の計画に対し、323,174 千円であった。（前年対比 98.6% 計画対比 99.4%）
- ・要因としては、1月にインフルエンザの蔓延防止のために短期入所事業を約一週間利用制限を行ったことや利用者の重度化により、在所期間が短くなったこと等が挙げられる。今後も居宅介護支援事業所や関係機関との連携を強化し、利用率の向上を図り、経営の安定につなげたい。

#### 2. 施設サービスについて

- ・2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、地域住民や保険者、ご家族や利用者にも出席していただき、当苑が提供しているサービス内容等の情報を公開し、“地域に開かれた施設”を目指すと同時にサービスの質の向上につなげることができた。
- ・神戸市で開催された「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」に参加して、当苑の取り組みについて発表することができた。

#### 3. 感染症について

- ・今年も全国的にインフルエンザが猛威を振るうなか、当苑も利用者・職員ともに罹患してしまった。保健所への状況報告を行うとともに、嘱託医師の指示を受けながら蔓延防止に努めた。施設内では、手洗い、消毒、マスクの着用、面会制限等を行った。

## 養護老人ホーム 宇寿荘

(入所定員：80名)

### 1. 入所等の状況 (平成31年3月末)

出身地	小計	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
雲南市	70	20	11	14	10	8	5	2
奥出雲町	1				1			
出雲市	3	3						
合計	74	23	11	14	11	8	5	2

### 2. 入居者の年齢構成 (平成31年3月末)

年齢構成	人数
90歳～99歳	27名
80歳～89歳	26名
70歳～79歳	15名
60歳～69歳	6名

最高齢 99歳、 平均年齢 84.9歳

### 3. 入所者等の実績 (平成31年3月末)

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
29年度	11人	10人	77.4人	96.8%
30年度	8人	11人	76.1人	95.1%

### 4. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：99.5% 計画対比：108.2%

	介護保険事業	老人福祉事業	合計
29年度	82,635	148,116	230,751
計画	68,358	143,964	212,322
30年度	86,781	142,856	229,637

### 5. 外部サービス提供状況 (延べ) 月平均利用者数：46.3名 平均介護度：2.0

	利用人数		利用回数		前年対比
	29年度	30年度	29年度	30年度	
基本サービス	529	556	20,890	20,520	98.2%
訪問介護	522	526	39,472	39,828	101.0%
通所介護	61	65	372	382	102.7%
認知症通所	300	293	2,561	2,541	99.2%
福祉用具	246	269	837	1,220	145.8%

6. 職員配置数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

職 種	員 数	正規職員		臨時職員		パート職員	
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
施設長	1		1				
生活相談員	4		3			1	
事務職	2			1		1	
看護職員	3	2				1	
機能訓練指導員	1	1					
支援員	13		6		6		
介助員	2					2	
管理栄養士	1		1				
夜間支援員	3					3	
合 計	30	3	11	1	6	9	0

7. 行事・事業の実施状況

4 月	花見	10 月	交通安全指導、遠足
5 月	交通安全指導、遠足	11 月	地域交流運動会、収穫祭、避難訓練
6 月	創立記念日、家族会、健康診断	12 月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7 月	避難訓練、納涼祭	1 月	新年祝賀会
8 月	盆法要、七夕祭り	2 月	節分、健康診断
9 月	敬老祝賀会、彼岸法要	3 月	彼岸法要

8. 研修参加状況

職場外研修合計 33 回 延べ 35 人参加 職場内研修合計 11 回 延べ 187 人参加

【考察】

① 経営基盤の安定について

- ・全体の事業収入は、前年対比 99.5% 計画対比 108.2%であった。
- ・介護保険収入は、前年対比 105.0%、計画対比 130.0%であった。  
要因としては、重度化に伴い介護保険サービス利用者数が増えたことが挙げられる。
- ・措置費収入は、前年対比 96.4%、計画対比 99.2%であった。  
前年度を下回った要因としては、入所者と待機者の重度化により居室調整が困難となっており、入所率が低下したことが挙げられる。

② ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作りについて

- ・研修やグループワークなどを通じて、接遇マナー向上に取り組み、入所者との信頼関係の構築に努めた。
- ・楽しみ生きがい教室として生け花教室、書道教室、カラオケなどを定期開催した。

③ 業務効率の改善とリスクマネジメントの構築について

- ・吐物処理の演習や感染症予防研修などを通じ、感染症の蔓延を防止した。
- ・ご利用者や職員を対象とした口腔ケアの研修会を開催し、口腔衛生の意識啓発と健康管理に取り組んだ。

④ 人材育成の強化について

- ・研修委員を中心に研修テーマを検討し、内部研修を月 1 回定期開催した。
- ・外部研修については、認知症対応を中心に必要なスキルを習得し、現場で実践した。



## デイサービスセンター愛あいの家

(定員：12名)

### 1. 利用状況

	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1月利用者数
29年度	257日	2,573回	214.4人	10.0人	25.0人
30年度	256日	2,541回	211.8人	9.9人	24.4人

### 2. 介護度別延べ利用回数

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
29年度	240	1,028	987	90	224	4	1.7
30年度	166	1,089	797	167	286	36	1.8

### 3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：102.7% 計画対比：99.4%

	受託収入	その他	合計
29年度	22,450	0	22,450
計画	23,205	0	23,205
30年度	23,058	0	23,058

### 4. 職員配置状況

職 種	員 数	正規職員		臨時職員	
		専従	兼務	専従	兼務
管理者	1		1		
生活相談員	1		1		
介護職員	2			2	
機能訓練指導員 (看護師)	1				1
合計	5		2	2	1

### 5. 事業の実施報告

4月	花見ドライブ、おやつ作り	10月	調理レク (おやつ作り)
5月	園芸週刊	11月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6月	端午の節句 (笹巻団子作り)	12月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7月	行事食 (団子汁作り)	1月	新年お茶会
8月	七夕祭り会	2月	節分
9月	敬老会 (宇寿荘合同)	3月	ひな祭り

## 6. 各種会議及び研修会への出席状況

### 各種会議

- ①運営会議（随時）      ②運営推進会議（2回）      ③通所介護部会・総会（5回）
- ④サービス担当者会議（随時）      ⑤職員会議（毎月）

### 各種研修会

- ①苦情解決研修会（1回）      ②集団指導（3回）      ③認知症ケア研修会（2回）
- ④. 通所介護部会研修会（2回）      ⑤職場内研修（4回）

### 【考察】

#### ①経営基盤の安定について

- ・事業収入は前年対比 102.7%、計画対比 99.4%であった。利用者数は前年とほぼ同数であったが、介護報酬改定による提供時間を8時間に見直したことで前年度を上回った。

#### ②職員の資質向上について

- ・宇寿荘と合同の内部研修会に参加し専門性を高めた。
- ・関係機関の職場体験実習の受け入れを積極的に行った。
- ・利用者・職員アンケートをしてミーティング等で業務見直し、接遇面などサービス向上に努めた。

#### ③地域との連携強化について

- ・運営推進会議を年2回開催し、行政、地域住民、家族の方と意見交換し、サービス向上に努めた。
- ・宇寿荘との合同の地域交流会、保育園へ作品を持参し地域交流を図った。

#### ④リスクマネジメントの強化について

- ・利用者の心身の状態に合わせて個別支援を実施すると共に、事故防止に努めた。
- ・宇寿荘と情報共有を図りながら、手洗い・うがいの励行を促し、感染予防に努めた。

## ヘルパーステーションかも

### 【介護保険】

#### 1. 介護度別利用者数（累計） 前年対比：95.2%

年 度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
29年度	12	20	32	44	74	47	11	9	249	1.9
30年度	24	21	12	61	47	38	17	17	237	1.9

#### 2. 利用状況

##### 【介護保険】 訪問回数 前年対比：77.0%

年 度	開設日数	延べ訪問回数	1月平均訪問	1日平均訪問	1月利用者数
29年度	365日	5,397回	449.8回	14.8人	20.8人
30年度	364日	4,154回	346.2回	11.5人	19.8人

##### 【障害者総合支援ヘルプ】 訪問回数 前年対比：103.8%

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
29年度	149人	1,422回	118.5回	12.4人	9.5回
30年度	160人	1,476回	123.0回	13.4人	9.3回

#### 3. 事業収入（単位：千円） 前年対比：99.4% 計画対比：125.0%

年 度	報酬収入	負担金収入	自立支援給付費	生活管理指導員	外部受託収入	合 計
29年度	14,185	2,201	7,866	0	4,773	29,025
計画	10,690	1,187	6,862	1	4,340	23,079
30年度	10,913	1,665	8,666	0	7,589	28,833

#### 4. 職員配置状況（平成31年3月31日現在）

管理者（サ責兼務）	サービス提供責任者	訪問介護員	登録ヘルパー（パート）
1名	3名		9名（常勤換算3名）

#### 5. 会議の出席状況

ヘルパーミーティング、雲南地域訪問部会・自立支援部会（毎月） 各種委員会（随時）

#### 6. 研修会の出席状況

雲南地域訪問介護部会研修（4回） 職場内研修（5回） 職場外研修（4回）

## 【考察】

### ①介護保険事業について

入院、入所やショートステイや終末期の利用者が多く、また、長期利用（毎日）されていた方が入所等で利用が中止となり、利用者数、事業収入ともに落ち込んだ。

### ②自立支援事業について

利用者の入院もあったが新規利用者もあり事業収入は増加した。

### ③外部サービスについて

宇寿荘と連携を図り積極的に訪問した結果、前年対比 159%の増収となった。

### ④利用者アンケートについて

利用者、家族共に「ヘルパーを利用して良かった、今後もぜひ利用したい」との結果だった。今後も更に利用満足度が高まる様に努力したい。

### ⑤ 広報誌による情報提供について

アンケート結果等を広報誌（年 1 回）に掲載し情報提供を行った。

### ⑥ 登録ヘルパーの確保について

常勤ヘルパーの急な退職により訪問等のやりくりで苦慮した。引き続き人材確保に努めていきたい。

### ⑦ 資質向上について

研修会に積極的に参加し資質向上に努めた。

### ⑧ 実習生の受け入れについて

実習生の受け入れを行い介護人材の育成に協力した。

### ⑨ 適切なケアの実施について

「自己評価」により振り返りを行ってケアの質を高め、また、ヘルパーミーティングで情報共有を図り利用者の状態に適したケアの実施に努めた。

### ⑩ 今後の課題について

介護保険利用者は、施設志向が高まっており在宅サービス利用者の減少が見込まれる。また、ショートステイを利用される方が増えたり、終末期になってからの短期間利用が多くなっている状況である。更なる関係機関との連携を図り利用者の確保に努めたい。また、対応の難しい障がい利用者数は順調に伸びているが、ヘルパーによっては受け入れ拒否もあるため人材確保と資質向上で選ばれる事業所を目指したい。

## 加茂デイサービスセンター

(定員：35名)

### 1. 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：104.9%

年 度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
29年度	28	101	210	178	339	120	42	23	1,041	1.7
30年度	34	109	193	226	334	113	79	4	1,092	1.6

### 2. 利用状況 利用回数 前年対比：102.8%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1人平均利用
29年度	308日	8,427回	702.2回	27.3人	8.1回
30年度	308日	8,664回	722.0回	28.1人	7.9回

### 3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：98.0% 計画対比：103.6%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	外部受託収入	合 計
29年度	64,312	7,195	5,477	3,148	80,132
計画	60,509	6,742	5,428	3,064	75,743
30年度	61,942	6,966	5,585	4,020	78,513

### 4. 職員配置状況 (平成31年3月31日現在)

課長(※1)	係長(看護・機能訓練・口腔兼務)	生活相談員(※2)	看護職員(内1名嘱託)	作業療法士
1名	1名	2名	2名	1名

介護職員(※3)	送迎運転手
9名	3名(パート)

※1：管理者・生活相談員兼務

※2：介護職員兼務

※3：専従＝4名 臨時＝3名 パート＝1名 障害者雇用＝1名

### 5. 事業の実施状況

#### (1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ	10月	外出(フォーゲルパーク)
5月	外出(花の郷)・ドライブ	11月	外出(出雲大社)・外食
6月	外出(出雲大社)・笹巻作り・カラオケ	12月	忘年会・鍋会
7月	ショッピング・外食	1月	初詣・初釜

8月	ドライブ・ショッピング・外食	2月	節分
9月	外出（花の郷）敬老会・外食	3月	ドライブ

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年4回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回（12月）	職員個人面談	1回
職場体験学習（中高生）	2名	実習生受入れ（トリニティカレッジ）	2名
		介護者の集い	12回

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
将棋サロン	2回	児童クラブ	7回
二十三夜祭り作品展示	1回	小学生茶道クラブ	1回
チャレンジスクール	1回	宇寿荘との交流	2回

(4) 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会	1回	職員会、各委員会	12回
雲南市ケア会議	1回		

(5) 研修会出席状況

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
通所介護部会研修（雲南・県）	6名	老施協県大会	1名
外部研修（人材育成）	9名		

【考察】

① 事業収入について

・今年度は積雪のための営業中止や、また、インフルエンザが蔓延することもなく冬季の急なキャンセルが少なかった。そのため前年度よりも利用回数は増え収入は計画対比 103.6%と上回ったが、前年対比は 98%と下回った。今後も空き情報を発信して新規利用者の確保に努めたい。

② リスク管理について

・地震発生時の対策について、ロッカーや食器棚など倒れそうな物を地震対策として固定した。

・ご利用者の骨折などの事故はなかったが、職員の転倒による骨折があった。今後も環境整備、備品の点検を行い事故の防止に努めていきたい。

③ 職員の資質向上について

・外部研修後に伝達研修や勉強会を実施し資質向上に努めた。委員会を中心にサービスの向上に向けて取り組みを行った。

## デイサービスセンターほほえみ

(定員：12名)

### 1. 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：92.7%

年 度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均介護度
29 年度	0	0	110	91	62	4	19	286	2.05
30 年度	0	0	101	47	66	14	37	265	2.40

### 2. 利用状況 利用回数 前年対比：84.0%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1 月平均利用	1 日平均利用	1 月利用者数
29 年度	308 日	3,126 回	260.5 回	10.1 人	23.8 人
30 年度	308 日	2,625 回	218.8 回	8.5 人	22.1 人

### 3. 事業収入 (単位：千円) 前年対比：87.3% 計画対比：99.4%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	合 計
29 年度	36,583	3,930	1,875	42,388
計 画	32,123	3,517	1,603	37,243
30 年度	31,949	3,575	1,479	37,003

### 4. 職員配置状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

課長 (※1)	生活相談員	看護職員	介護職員 (※2)	送迎運転手
1 名	2 名 (介護兼務)	1 名	2.8 名	3 名 (パート)

(※1) 管理者・看護職員・生活相談員兼務

(※2) 1 名専従・2 名臨時・パート常勤換算 0.5 名

### 5. 事業の実施状況

#### (1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4 月	花見ドライブ (桜) 作品作り	10 月	ホットケーキ作り・福祉まつり作 品作り・干し柿作り
5 月	花見ドライブ (つつじ)・チャレ ンジデー参加	11 月	ドライブ・花植え・カレー作り・ 家族会
6 月	笹巻作り・花見ドライブ ミニ運動会	12 月	クリスマス会 (踊り・マジック・ ダンス)・忘年会 (鍋会)
7 月	カレー作り・避難訓練	1 月	初釜
8 月	七夕飾り・おやつ作り (フルーツポンチ)	2 月	ちらし寿司作り・花見ドライブ

9月	敬老会（演芸）・創作活動	3月	ドライブ・おやつ作り（お好み焼き）
----	--------------	----	-------------------

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年3回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回（11月）	職員個人面談	1回
介護者の集い	12回		

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
児童クラブ	1回（6名）	チャレンジデー参加	1回
保育園児交流	1回（11名）	中学生職場体験	3名
高校生実習	1名	チャレンジスクール	1回（4名）

(4) 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
サービス担当者会議	随時	職員会議	12回
通所介護部会総会	1回	居宅管理者会議	12回
雲南市ケア会議	1回	集団指導	1回
運営会議	4回	ケース検討会	随時
運営推進会議	2回		

(5) 研修会の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会研修会	1回（3名）	新入職員研修	1名
県老協研修大会	1回（1名）	デイサービス部会研修会	1名
職員全体研修	5回	介護支援専門員更新研修 （実務未経験者）研修	1名

【考察】

① 事業収入について

・新規利用もあったが入院・入所が引き続きあり、利用者数は1日平均8.5人と伸びず、事業収入も前年対比、計対比共に下回った。

介護度別にみると要介護4～5の方の利用が例年より多く重度化しているため入所傾向となっている。このため居宅介護支援事業所と連携を図り利用者の確保に努めていきたい。

② 資質向上、実習生の受け入れ

・研修会への参加により資質向上に努めた。

・中学生・高校生の職場体験の受け入れを行なった。



③ 地域交流について

- ・児童クラブ、保育園児との交流する機会が多く、ご利用者に大変喜んで頂いた。  
また、図書館に作品展示をし、地域の方にも喜んで頂いた。

④ 地域や家族との連携

- ・運営推進会議（9月・3月）を開催し、地域住民や行政と意見交換を行った。
- ・月1回の介護者の集いと家族会を11月に開催し意見交換を行った。  
また、アンケートの実施によりご家族から意見をたくさん頂くことが出来た。

## かも福祉会居宅介護支援事業所

### 1. ケアプラン作成数 前年対比：99.9%

年度	ケアプラン作成数（介護）	ケアプラン作成数（予防）	合計	月平均ケアプラン作成数	ケアマネ1人当たり作成数
29年度	1,471	446	1,917	159.7	31.9
30年度	1,495	420	1,915	159.6	31.9

### 2. 介護度別ケアプラン作成数

年度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
29年度	11	146	289	408	689	242	80	52	1,917	1.79
30年度	9	112	299	489	583	254	102	67	1,915	1.83

### 3. 事業収入（単位：千円） 前年対比：102.9% 計画対比：105.3%

年度	居宅介護支援介護料収入	包括支援C受託収入	訪問調査受託収入（※）	合計
29年度	22,745	1,972	394	25,111
計画	22,357	1,858	324(120件)	24,539
30年度	23,677	1,848	305(101件)	25,830

※の（ ）内は訪問調査件数

### 4. 職員配置状況（平成31年3月31日現在）

係長（管理者）	主任介護支援専門員	介護支援専門員
1名	1名	3名

### 5. 会議・研修会

会議・研修会名	回数	会議・研修会名	回数
ミーティング	毎週	県・雲南ケアマネ協会・部会研修会	13回
福祉会全体研修	5回	地域ケア会議（包括支援C開催含）	12回
介護支援専門員（更新）関係研修	4回	事例検討会	5回
感染症・苦情・虐待・権利擁護研修会	4回	各連絡会・連携会議	3回

#### 【考察】

- ① 介護のケアプラン作成数は、年度初めは115件であったが新規受け入れを継続した結果、130件を超える月が3ヵ月あり、前年度より多く作成することができた。予防のケアプラン作成数は、前年度より少ない件数であったが合計ではほぼ昨年度並であった。
- ② 介護度別では、要介護1の件数が増加している。また、重度化の進行と有料老人ホームへ入所される方は引き続き担当継続となるため要介護4・5の方も若干増えている。近年の

傾向として介護負担や共働き世帯の増加に伴い施設入所希望が多い。

- ③ 事業収入では、介護のケアプラン作成数の件数増加、とりわけ要介護4・5の件数増加により合計収入は昨年より増収となった。訪問調査受託収入は要介護認定有効期間が2～3年と伸びたことで年間調査件数は減っており、調査件数の収入も必然的に減っている。
- ④ 地域貢献については、今年度福祉講座を開催することはできなかったが、加茂町地域ケア会議・給食会議等で事例発表・意見交換などすることができ、民生児童委員・地域の方との繋がりを持つことができた。

## かも社会就労センター

(利用定員 30 名)

1. 利用者数：37 名（男性 20 名・女性 17 名）（平成 31 年 3 月 31 日現在）  
 身体障害：5.5 名 知的障害：18.5 名 精神障害：12 名 難病：1 名

2. 利用状況（平均年齢：48.5 歳・最高齢：75 歳・最年少：18 歳）前年対比：102.5%

年度	開所日数	延べ利用者数	1 月延べ利用者数	1 日当たり利用数
29 年度	306 日	7,216 人	601.3 人	23.6 人
30 年度	308 日	7,393 人	616.1 人	24.0 人

3. 受託加工取引業者と作業内容

株式会社 山光：自動車部品の加工	笑寿苑：洗濯・掃除
ナカバヤシ株式会社：ファイルの加工	信書便事業（H25.3～）
協栄ファスナー：自動車部品の加工	JA：葬儀準備片づけ（H26.4～）
(株) ソノ：タオルの袋詰め	ヒカリ電子：箱詰め作業
小早川製粉：蕎麦の実袋詰め作業（不定期）	シンメイ：食品カップ等袋詰め（H28.5～）
テクノマーチ：お菓子袋詰（H29.10～）	宇寿荘：洗濯（H29.10～）

4. 就労支援事業収入 加工賃売上高（単位：千円） 前年対比：79.7% 計画対比：115.8%

年 度	受託加工事業	清掃活動事業	葬儀準備事業	つつじホー ル事業	信書便事業	合 計
29 年度	5,408	1,969	-	3,750	2,195	13,322
計 画	4,090	2,208	388	-	2,478	9,164
30 年度	5,503	2,217	399	-	2,491	10,612

5. 事業収入（単位：千円） 前年対比：101.2% 計画対比：135.4%

年 度	訓練等給付費	利用者負担金	計画相談支援(※1)	その他(※2)	合 計
29 年度	50,672	263	2,691	90	53,716
計 画	37,230	223	2,696	0	40,150
30 年度	50,417	293	3,624	15	54,349

(※1) は、計画相談支援給付費収入＋委託収入

(※2) は、計画相談調査費

6. 行事・事業の実施状況

4 月	花見会食	10 月	一日研修旅行(奥出雲)・職場実習・実習生受入 2 名(ホムケ)
5 月	牡丹見学・交通安全教室・チャレンジデー	11 月	避難訓練・職場実習・実習生受入 2 名(トリニテイ)

6月	笹巻き・避難訓練・実習生受入	12月	忘年会・職場実習
7月	休憩室環境整備	1月	新年会
8月	七夕祭り	2月	
9月	茶話会・実習生受入4名(ホームケア)	3月	茶話会・土砂災害避難訓練・健康診断(永瀬医院)

#### 7. 会議の出席状況

会議名	回数	会議名	回数
ワーキング部会	3回	就労支援専門部会	3回
雲南圏域総合支援協議会定例会	3回	障がい者就業生活支援センター連絡会議	2回
精神障がい者地域定着支援会議	1回	県障がい者就労事業センター連絡会議	1回
相談支援連絡会	12回	集団指導	1回
雲南圏域相談支援部会	2回	職員会議・ケース検討会	12回

#### 8. 研修会の出席状況

研修会名	人数	研修会名	人数
安全運転研修	1名	ファシリテーター養成研修	1名
もう一つの成人を祝う会	1名	福祉職員キャリアパス対応研修	1名
苦情解決研修会	1名	ワーキンググループ視察研修	1名
消費税軽減税率対策セミナー	1名		
相談従事者スキルアップ研修	1名	雲南地域就労支援視察研修	1名
中国地区信書便管理者実務講習会	1名	雲南基幹型相談支援センター研修会	1名
精神障がい者地域定着支援研修	1名	障がい福祉サービス経営セミナー	1名
		高次脳機能支援ネットワーク研修	1名
引きこもり支援研修会	1名	福祉の学校見学会	1名

#### 9. 職員配置状況（平成31年3月31日現在）

管理者	係長（相談支援専門員）	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員
1名	1名	5名（内2名臨時）	2名	1名（臨時）

#### 10. つつじホール事業（月別利用回数）

	ミーティングルーム		研修室		葬儀（研修室利用回数の内数）	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
4月	11	10	7	6	7	6
5月	15	13	9	8	9	8
6月	14	11	8	6	8	6

7月	13	10	6	4	6	4
8月	17	12	11	9	11	9
9月	12	12	6	9	6	8
10月	12	8	9	4	9	4
11月	15	12	10	6	9	6
12月	15	9	12	7	12	7
1月	11	15	7	12	7	12
2月	4	3	3	1	3	1
3月	15	10	11	4	11	4
合計	154	125	99	76	98	75

1 1. 利用料収入 計画対比：108.1% (単位：千円)

29年度	—
計画	3,500
30年度	3,785

【考察】

①事業収入について

年間を通し2名の利用者の減と2名の増があり利用者数は変わらなかった。しかし次年度当初に退所者1名が既に決まっている。

就労支援事業収入は順調に受注でき、いずれも対前年・計画を上回った。ただし、つつじホール事業は、平成30年度から別拠点を設定し移行した。事業収入は利用者の確保と出勤率が良好だったため、対前年・計画ともに上回ることができた。計画相談調査費の減は3年毎の更新で対象者が少ないためである。

②利用者対応について

利用者を楽しみを持って通所していただくため季節毎に行事を企画した。特に春秋の研修旅行は意欲向上に繋がっている。また学校、団体から9名の実習生を受け入れ障がい者と交流機会をもつことで理解を深めてもらった。一般就労希望者には5日間3名、市内3企業において職場実習を実施した。就労センター内で利用者が気持ち良く作業ができるよう休憩室や就労センター周囲の環境整備を行った。

③職員の資質向上について

施設内外の研修に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

④つつじホール事業について

葬儀回数は前年より23件、ミーティングルームも29件の利用減となった。平成30年度のJA以外の葬儀利用は天使堂3回、あんしん葬祭1回、平安祭典1回の実績だった。駐車場は未舗装で雨天の際水たまりができ、靴が汚れたり歩きにくいといった苦情もあり、今後の課題である。

## 事業収入集計（単位：千円）

（進捗率 100%）

事業所名	前年度	計 画	実 績	前年対比	計画対比
笑寿苑長期	291,645	288,179	<b>287,641</b>	98.6%	99.8%
笑寿苑短期	36,114	36,895	<b>35,533</b>	98.4%	96.3%
宇寿荘	230,751	212,322	<b>229,637</b>	99.5%	108.2%
愛あい	22,450	23,205	<b>23,058</b>	102.7%	99.4%
ヘルプ	29,025	23,079	<b>28,833</b>	99.3%	124.9%
加茂デイ	80,132	75,743	<b>78,513</b>	98.0%	103.7%
ほほえみ	42,388	37,243	<b>37,003</b>	87.3%	99.4%
居宅介護支援	25,111	24,539	<b>25,830</b>	102.9%	105.3%
就労センター	53,716	40,150	<b>54,349</b>	101.2%	135.4%
つつじホール	-	3,500	<b>3,785</b>	-	108.1%
合 計	811,332	764,855	<b>804,182</b>	99.1%	105.1%

## 加茂健康福祉センター かもてらす

### 1. 入館者数 前年対比：94.0%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	2,441	2,576	2,474	3,324	2,960	2,794	3,192	2,744	2,454	2,621	2,754	2,707	33,041
H30	2,231	2,763	2,802	2,900	2,784	2,569	3,381	2,474	2,377	2,063	2,137	2,568	31,049

#### 【考察】

入館者数の年間合計は、前年度より1,992人、率にして94.0%と減少しており、入浴者数の減少やB&G海洋センターがリニューアルオープンしたことも減少の要因のひとつと考えている。今後入館者を増やすためには海洋センター以上のトレーニングルームの充実など、魅力ある施設づくりを行い固定客を増やすことが重要と考える。このため、引き続き雲南市と協議を行っていく。

### 2. 入浴者数 前年対比：92.4%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	1,569	1,547	1,448	1,703	1,561	1,327	1,420	1,513	1,413	1,442	1,533	1,571	18,047
H30	1,273	1,395	1,333	1,588	1,575	1,338	1,296	1,275	1,389	1,350	1,314	1,542	16,668

#### 【考察】

入浴者数は、前年度より1,379人、率にして92.4%と減少しており、これは11月にサウナ室の修繕工事による休業や春・夏に行われる中学・高校の吹奏楽部の合宿期間が短くなったことによる影響、固定客の減少など複合的な要因によるものである。入浴者数を増やすためには抜本的な浴室のリニューアルが必要と考える。